



議会だより

# でいすかす

76号

発行・登別市議会／編集・議会だより編集委員会／発行日・2015.2.1

登別市議会

で

検索

市議会ホームページで、本会議などの生中継と過去の議会映像をご覧いただけます

## 平成27年度予算編成と防災を重点に議論！

平成26年第4回定例会が12月5日から12月17日までの13日間の会期で開催され、議案17件、報告5件、意見書案4件を審議し、すべて原案のとおり可決しました。

各議員の一般質問の内容は33ページから、可決した案件は39ページにそれぞれ掲載しています。

### 市民・前進

平成25年度の決算審査にあたり、会派内で集中して勉強会を開催し、総括質疑まで検証した上で審査に臨んだ。また定例会のたびに出る補正予算においては事業予算の適切な積算額を確認した。

次の定例会に向け、会派一丸となって一つ一つの事業における問題・課題や成果などへの検証に取り組みたい。

会派会長 山口 賢治  
幹事長 工藤 健一  
松山 哲男 高橋 正美  
天神林美彦 成田 昭浩  
米田登美子 二瓶 秀幸

### 市政クラブ21

師走の選挙の中での定例会であったが、一般質問の内容については、厳しい財政下での市民生活に関わる、今後の少子・高齢化に向けた子育ての考え方や次年度の予算編成のあり方、経済対策など充実した審議内容であったと思われる。今後市政発展のために活動していく。

会派会長 沼田 一夫  
幹事長 杉尾 直樹  
上村 幸雄 山田 新一  
佐藤 弘子



### 公明党

本定例会において補正予算を原案のとおり可決したが、温泉供給施設維持管理経費に疑義が生じたことから、原因究明実施を求める「附帯決議」を付した。

言うまでもなく議会は批判と監視の府である。今後もこうした点に目を向け、各議員が議会での審議能力を高めていきたい。

会派会長 木村 純一  
幹事長 村井 寿行  
木村 俊子

### 日本共産党

「市民の願いをまっすぐ市政に！」と毎年市民から予算要望アンケートをもらっている。それを土台に2015年度の予算要望書を平成26年11月19日に市長へ手渡した。あわせて福祉灯油の実施も要望した。本定例会ではこれら市民の要望に基づき、質問や具体的提案を行い実現を迫った。

会派会長 渡辺 勉  
幹事長 佐々木久美子

### 清新

補正予算審査前に温泉供給施設維持管理経費の資料要求を行なって、過去5年間のデータを提示してもらった。それを自分なりに分析してみたが、ある傾向を示すような結果が見られたので、質疑でそこを指摘した。今回は生データがヒントを与えてくれた。毎回そうとは限らないがほかの事業についても調べる価値はある。

会派会長 石山 正志

### 平成26年 第5回臨時会

議案2件について、平成26年11月26日に審議を行いました。

上程された議案は、

- ①「専決処分について」
  - ②「登別市職員の給与に関する条例等の一部改正について」
- であり、①については全会一致で承認、②は賛成多数で原案のとおり可決しました。

※専決処分の内容は平成26年12月に実施された衆議院議員総選挙などに伴う一般会計補正予算についてです。

## 高齢世帯に 救急医療情報キット配布について

佐藤 弘子



**質** 緊急時、災害時または日常生活においても、近助力の活用に個人情報扱いが重要となる中、救急医療情報キットの導入による、全市展開に向けた小地域ネットワーク活動の推進状況をたどした。

## 市民の命と財産を守る 防災対策の強化を

渡辺 勉



**質** 共産党市議団が市民へ行った予算要望アンケートでは、全体の21・6%が防災について回答し関心の高さを認識した。今回はそれに基づき防災について質問を行った。アンケートでは、防災体制が整備されている7%、整備されていない34%、どちらでもない33・3%であり、市民からの要望提案と受け止めたいと述べた。防災については、町内会単位の避難訓練の現状と、実施が難しい町会への支援を行い市民が一度は経験できるように援助すべきとたどした。また高台が近くにない市民が安心して暮らせるように奥尻町の人工高台や函館市の車での避難など実例を示して、検討を迫った。現在避難ビル指定の道営住宅屋上への避難を可能にするために、市で予算化してでも、実現すべきと提案した。

## 防災・減災対策について

村井 寿行



**質** 私は今回の一般質問で、平成23年3月11日に発生した東日本大震災以降、本市においては防災・減災に対するさまざまな対策を講じてきたが、道路や橋梁のようなインフラ整備には多額の予算が必要となるため、まだまだ十分取りかかれていない現状にあることから、本市における道路・橋梁の現状、また修繕計画についての考えはどうか。

## 市内循環運行バスなどについて

佐々木 久美子



**質** 消費税の引き上げや、北海道電力による電気料金値上げで低所得者などの生活が大変となる中、

灯油購入費を補助する福祉灯油などの財政支援をすべきと考える。

**答** 灯油価格は下落傾向にあり、昨年と灯油価格が同レベルであることから、現在は福祉灯油を実施する意向はないが、今後は灯油価格の動向を見ていく。

**質** 人口減を食い止め活気あふれるまちづくりに向けた施策で、小・中・高校生などに「将来どんな登別になりたいか」などの意見交換会実施についての考えは。

**答** 市内の小・中学生などから将来の登別市への思いを聞く機会を設けたい。

**質** 私たち市議団が市民へ行った予算要望アンケートでは市内循環バスの要望が出ているが、今後の高齢化社会を見据えた市内循環バス運行についての考えは。

**答** 市内循環バスを走らせることにより赤字路線や赤字金額が増え、市の負担が増える。また循環バス運行に関する需要は低いと認識している。

キット活用の周知方法については、市内8つの小学校区を単位として、町内会関係者など地域の住民に対し、キットの活用を含めて小地域ネットワーク活動に関する説明会を開催し、市としては広報やホームページに小地域ネットワーク活動の意義や事業内容を掲載し周知する予定である。

さらに高台避難場所となっている所の冬季の除雪の対応について、都市整備部としての日常的な対応を求めた。また検討事項となっている「ペット同行避難」について、早期に方針化する事を求めた。近くにある山へ避難するように、治山事業を行う場合、避難階段設置を行う事を熊石町の実例を示して要望すべきと提案した。

**答** 道路・橋梁の状況について、市道では経年劣化による舗装面の傷みや、排水施設の破損などが生じ、橋梁についても古い橋梁などに修繕が必要であり、今後の計画としては道路について点検を実施し修繕計画を立てる予定。また橋梁については橋梁長寿命化修繕計画に基づき今年度より着手し、今後とも計画的に取り組み。

道路下の空洞調査については今後行う予定であり、いろいろな工法が開発されているので、今後調査方法の選定を行いながら実施したいと考える。



## 未来を見据え 子育て施策の拡充を!

杉尾直樹



少子高齢化と人口減少は今後の国の根幹を揺るがす深刻な問題である。

数ある人口減少の要因の中でも「20代から30代の女性の減少」と「大都市への人口流出」は大きな課題であり、地方で若い人材が働いて所得を確保し、安心して子供を産み育てる環境づくりの対策には早急に着手しなければならない。

そこで今回の質問は平成27年4月から開始となる「子ども・子育て支援制度」への取り組みについて、市民ニーズの把握状況や行政の取り組みの進捗よく状況、今後の運用方針などを確認した。

市民ニーズとして経済的支援や施設の充実を希望する声は多かったものの、市の平成27年度以降の方針は現状と変わらず、国の給付金の推移や既存幼稚園の新制度移行を見ながら対応することであった。

ただし「保護者の経済状態に関わらず、すべての子どもたちが安心して平等に教育・保育を受けられる、より良い環境を作るよう努める」との答弁があった。

今後の議員活動として政府が掲げる『幼児教育無償化』の実現に向けた活動を続ける所存である。

## 平成27年度予算編成について

沼田一夫



大綱3点について質問した。

①予算編成時期にかんがみ、平成27年度の予算編成に対する考え方を質問した。特に市内経済の活性化に大いに関わる事業費のあり方や、地区要望に対する市の予算化や消費税10%への引き上げが1年6カ月延期されたことに対する市の財政への影響についてたじた。

また地方創生の活用については、「地方人口ビジョン」「地方版総合戦略」の策定に向け、「子育て」「高齢者サポート」「商業の活性化」を重点政策に位置づける方針が示された。

地方創生とは、人口減が地域経済の縮小を呼び、経済縮小が人口減を加速させる悪循環を断ち切ることであり、地方の雇用創出や都市からの移住促進などに取り組む方針が国から示されており、地方を元気にしようとするものである。

②姉妹都市交流についての目的や考え方について質問した。この中で市長は「災害時などに相互に助け合う関係構築、交流を通し両市が共に発展することを目的に取り組む」と述べた。  
③公共施設の整備計画の推進について質問した。

## 保育所と高齢者施設について

山田新一



①民営化を視野に入れた保育所と高齢者施設を同じ敷地内に建築することで、いつでも交流を持つ

ことができ、お互いが楽しく触れ合う中で相互に援助し合う利点があると思うが、その考え方はあるか。

②交流の利点については、高齢者と幼児が接することで、高齢者は自分自身の役割を見つげることや、幼児は他人への思いやりや優しさが身に付くことなど、お互いに大きな利点があると考えるので、平成27年夏までに市の事業計画に施設エリアを盛り込む方針である。

③登別市の人口が年々減少していく現状をくい止め、人口増とするための対策として、市内に建物を建築した場合には市内経済活性化に大きく影響すると考えるので、住宅建設促進奨励金制度を取り入れる考えはあるか。また土地や家に係る業者がセールズとして営業する事への奨励金も考えてはどうか。  
④現在まちの魅力を高め「登別市に住みたい」「登別市に住み続けたい」と思っていただけのように努めており、制度導入の必要性については見極める必要がある。

## 自然環境の保全について

米田登美子



いくつかの保護地区を抱え自然に恵まれた本市ですが、宅地造成・天災による自然破壊など環境は良いとは言えません。

そこで、今回は「豊かな地域が保全されるように」との思いで質問をしました。

二ホンザリガニ・エゾトミヨなどの生息地が狭められていることや、在来種の植生が脅かされる状況の中、その保護活動の在り方、自然保護の活動者の育成について質問をすると、学校教育の現場では、体系的に学年を配慮して教育したり、さまざまな社会教育事業も実施されているとの答弁でしたが、環境保全という観点から、鳥獣・水生生物・植物別、大気・水質・土壌別など各ジャンルにおける自然保護の活動者の育成についてもっと意識されるべきと提言しました。また10年経過ごとの調査を改めてすべきではと求めましたが、10年から20年経過の中、状況をみてとの答弁であったので、協力者の高齢化で難航の恐れがあると指摘しました。

市の環境行政の諸課題を協議する環境保全政策推進会議は、緊急時に庁内の各部長などで構成する会議が開催されるに留まっていますが、本来は継続的に会議を行うべきと考えるので、今後の改善を求めました。

予算編成について

ただし

工藤 俱二雄



本市も予算を積み上げるときに、一般財源の伸び悩みと扶助費などの義務的経費の増加を受けて、

財政構造の硬化化が進行しています。地域の行政ニーズを的確に把握して自らの知恵と判断により事業を実施していくことがこれまで以上に地方自治体には求められており、その課題に対処さまざまな取り組みが行われてきました。

予算編成手法の見直しもその中の一つと考えられました。特に枠配分方式は予算の削減や現場への権限移譲による効果などを期待されて多くの地方自治体で採用され一定の成果を上げてきました。

しかし、経常経費で削減された経費は、当初、投資的経費にも使用されることになっていましたが、その目的と効果や成果に結びついたのでしょうか。削減率を各部署で達成したのは評価できるが、せっかく担当者レベルでその事業を精査し、経常経費を見直し削減効果で振り分けられた事業が、本当にこの経費を削減してまでしなければならぬ事業だったのかをたどりました。また平成27年度から導入する財政部局による一件査定方式での予算編成の内容などについていただきました。

生活・福祉委員会（付託案件審査）

議案3件について、12月5日に資料要求のための委員会を開催し、12月11日に審査を行いました。

議案は

- ① 登別市暴力団の排除の推進に関する条例の制定について
- ② 登別市国民健康保険条例の一部改正について
- ③ 登別市ひとり親家庭等医療費助成条例の一部改正について

①では、市民や事業者が暴力団の排除に係る活動に安心して取り組むための配慮について、条例の効果を上げるための警察との連携及び市の責務についてなどの質疑に対し、答弁があり、質疑終了後、全会一致で原案のとおり可決しました。

②と③では特に質疑はなく、全会一致で原案のとおり可決しました。

観光・経済委員会（付託案件審査）

議案3件について、12月5日に資料要求のための委員会を開催し、12月12日に審査を行いました。

議案は

- ① 公の施設に係る指定管理者の指定について
- ② 市道路線の認定について
- ③ 市道路線の変更について

①では、札内高原館の指定管理に関して、公募によらない選定とした基本的な考えについて、次期指定期間終了後の札内高原館のあり方についてなどの質疑に対し、答弁があり、質疑終了後、全会一致で原案のとおり可決しました。

②と③では特に質疑はなく、全会一致で原案のとおり可決しました。

補正予算のあり方について執行部に徹底追及！

（予算・決算委員会 平成26年度補正予算審査）

12月5日に資料要求のための委員会を開催し、執行部へ商工費の温泉供給施設維持管理経費に関する資料要求を行いました。12月15日に開催した審査に係る委員会で、質疑終了後、委員間討議を行った結果、温泉供給施設維持管理経費において附帯決議を付し、全会一致で原案のとおり可決しました。

石山 正志

温泉供給事業の電気使用量が上昇傾向にあり、電気料金の不足が生じるとして補正予算を計上した。しかしこの電気使用量の上昇原因が不明のままでは市民理解が得られない。

委員会として、執行部に50年以上経過したこの施設全体の専門的調査で原因を究明し、この事業の判断を含めた報告を議会へ行うよう求めた。

※ 附帯決議

- 商工費において、
- 一つ、温泉供給施設維持管理経費の補正に係る案件について、温泉供給施設にある各設備等を一つのプラントとして捉え、早急に全体的な専門調査を行い、電気使用量の増加に関する原因究明を行うこと。
- 一つ、調査結果を踏まえ、今後の温泉供給事業のあり方について検討を行うとともに、調査状況等については、議会に速やかに報告すること。

※ 附帯決議とは…

議会または委員会が議案の議決にあたり付け加える意見や要望のことです。法的な拘束力はありませんが、政治的に尊重されるべきものとされています。

## 登別市で白老町議会・登別市議会議員研修会を開催！



平成26年11月17日、本市において、白老町議会・登別市議会議員研修会を開催し、室蘭工業大学の加賀屋誠一副学長、古屋温美准教授を講師に招き、講演をいただきました。

加賀屋先生からは「地方における大学と議会の相乗的社会連携のあり方について」をテーマに、地方における大学の役割の一つとして、存在する地域におけるさまざまな課題に対して目を向け、その解決をサポートすることが重要となっていると話があり、市民社会構築のためのガバナンスのあり方について、具体的な例を基に説明がありました。

また、古屋先生からは「地域の産業振興と経済波及効果（水産業を事例に）について」をテーマに、水産業と関連産業の振興による地域シナリオの例を基に説明がありました。

終了後、お二人の先生を交え両議員間の交流を深めることができました。研修でした。



▲就労継続支援施設すずかけで説明を受ける様子

### 生活・福祉委員会

平成26年10月28日、市内4カ所の就労継続支援施設などの視察を行いました。視察に先立ち、現在市内に建設中の「就労継続支援施設フロンティア登別」の事業者から事業概要等の説明を聞きました。終了後「いぶり花づくりネットワーク」「登別市児童デイサービスセンターのぞみ園」「社会福祉法人登別さいわい福祉会就労継続支援施設月とらいおん」「就労継続支援施設すずかけ」を視察しました。各事業者の方からは「障がい者が地元を離れずに市内で地域で働き、交流することができればならない」との強い

思いから施設の設立に至ったことを伺いました。

また、「のぞみ園」では、障がい児への支援とともに、悩みを抱える保護者への支援も行っていると伺い、障がい者やその保護者に関わる方たちによる熱心な活動の現状を視察しました。

さらに、11月18日には、登別市障害者福祉関係団体連絡協議会との意見交換を行いました。市内の障がい者の方たちが抱える課題や問題についてお聞きし、障がい者が住み慣れた地域を離れずに、生活できるようなことが、本市における大きな課題であることを改めて認識しました。

### 議会運営委員会

第8回議会フォーラム開催や議長諮問事項の協議など精力的に取り組みました。

諮問事項について、議員の資質向上と政策提案の充実を図るため、議長に答申した主な事項は次のとおりです。

- 「政務活動費」は、1万円から従前の月額2万円とする。
  - 議員、委員会、議会それぞれからの「政策提案の充実」を旨として、議員間の協議の場の設置要綱等の一部改正とそのフロー図を作成する。
  - 3常任委員会の「構成人数」を各6名とする。
- さらに、諮問事項の協議に派生し、答申と併せて議長へ報告した事項は次の3つです。
- ①「委員会視察」は、隔年から従前

- ② 改選期の翌年度に新人議員を対象に地方自治の基本について研修受講させる。
  - ③ 「登別市議会基本条例に係る自己評価」を作成し、毎年度、各議員が自己評価し、充足した活動を目指す。
  - ④ の自己評価については、これまでの条例に基づく活動の有無を確認するチェックシートに加えて、条例の理解と遵守の推進および条例に基づく活発な議員・議会活動を推進するために、議会や委員会の一員として、また議員自身としての活動の取り組みを、条文ごとに自己評価する設問シートです。
- 議会改革の継続と議会基本条例のさらなる実効性の確保に向けた答申内容であり、議員・議会の役割を常に認識し、より一層の活動が展開されることを考えられます。



▲議会運営委員長が答申書を議長へ提出する様子

## 3日間にわたり各事業の成果と結果について幅広くただした！

(予算・決算委員会 平成25年度決算審査)

平成26年9月5日に資料要求のための委員会を開催し、執行部へ平成25年度各会計決算審査の資料要求を行いました。10月21日から23日まで開催した審査に係る委員会では、3日間にわたる質疑終了後、すべて原案のとおり認定しました。その後、12月5日の本会議で予算・決算委員会委員長が審査結果の報告を行い、すべて原案のとおり認定しました。

### 石山 正志

町内会運営助成金の見直しの考え方について。

平成8年度に助成金が増額されたが、本市の人口が最も多い時であり、まちづくりに対する町内会の役割が増したためと考えられる。見直しに当たっては、その理由を明確にしたい。

### 木村 俊子

使用済み小型家電リサイクルの回収状況と回収の効果について。

市役所などでのボックス回収は、約2・7トン、ピックアップ回収は、約73トン。平成26年度よりパソコンも回収。効果は、クリンクルセンターでの破碎がスムーズになったことや破碎歯の摩耗が減少した。

### 松山 哲男

学校給食事業特別会計では、老朽化する給食センター建て替えに係る今後の考え方などをただしました。

継続事業が多かった一般会計では、将来を見据えた、緊急雇用創出推進事業などの活用や各省庁の政策の情報把握の必要性、解散状態の市民自治推進委員会の今後の取り組みなどをただしました。

### 渡辺 勉

商工総務費において、低迷する市内経済の活性化に役立つ資金および、改装や備品の更新を行う商店や、これを請け負った市内業者にとっても生き残る事業補助となる商店版リフォーム制度として、実効性のある制度を創設すべきである。

### 高橋 正美

就労支援プログラム実施による成果を質問したが、本市は高齢者世帯や傷病者障がい者世帯の割合が高く、自立可能な世帯が少ないが、就労支援員の配置により、支援対象の33名のうち、就労・増収があった方が10名、自立した方が6名と一定の成果があったとの答弁であった。

### 佐々木 久美子

健診を受ける機会が少ない女性を対象に健診を実施することにより、生活習慣病の早期発見と早期治療を行うために少しでもより多くの方に参加してもらうための周知方法について。

広報、ホームページでの周知や、乳児健診時にチラシを配布するなどしている。

### 工藤 俱二雄

カルルス温泉スキー場事業特別会計では、歳入と歳出にわたって広く質問し、修学旅行の生徒の優位性を訴えた。

ごみステーション管理台帳等データ整備事業費では、データの有効活用や作業効率をただし、エソシカ有効活用推進事業費では、市内販売店やシビ工料理や二次加工について質問した。

### 村井 寿行

起業化支援事業補助金について、平成25年度においては、相談件数が10件あったが制度の利用に至らなかった。その理由として、この制度を利用するための条件が高すぎるのではないかと指摘し、今後は条件設定の緩和を含め、より利用しやすい制度にと要望した。



### 杉尾 直樹

今審査での質問通告は13項目。主な内容は、総務費では防災対策の現状確認、民生費では暴力団追放条例制定について、農林水産費ではエソシカやエソアワビ事業の今後の継続を訴え、商工費では起業化支援事業補助金の活用推進などを質問し、いずれも平成27年度以降への提案とした。

### 米田 登美子

本市での聴覚障がい者に対する手話通訳者派遣手続きの現状や他市の状況を確認し、サービスの違いについて指摘しました。障がいを持つ方々から改善を求める声を受けていたので、福祉サービスに地域差が生じないよう見直しと申請手続きの簡素化などの改善を求めました。

### 佐藤 弘子

平成26年4月現在の本市の防犯灯総基数およびLED灯の普及率は。また平成29年度までの時限措置である省エネ型防犯灯補助に関する今後の考え方について。

総基数は4千388基。そのうちLED灯は565基であり普及率は12・9%。今後については、普及率の状況により期間の延長や補助上限額の見直しを検討する。

### 上村 幸雄

平成24年度予算から導入した枠配分方式による予算編成の成果や課題について。

各部の主体的な取り組みによる事業の再構築や施策遂行意識の醸成など当初の目的は、おおむね果たせた。一方で経常経費予算規模の大小から各部での裁量に差が生じるなど課題が見られた。

### 二瓶 秀幸

一般会計の移住促進経費、広報広聴経費、交通安全推進経費、フラワーファンタジーロード事業補助金、市民プールバスパーク業務委託料について質問した。交通安全推進経費では、歩行者と自転車の事故や自転車運転マナーの悪さなどの問題に対し、市の取り組みをただした。

## 高校生ら、議場にて「言わせて!!」をテーマに市議と熱い意見交換！ 第8回議会フォーラム 模擬議会形式で開催

平成26年11月13日、登別市議会議場で、第8回議会フォーラムを開催しました。  
今回は「言わせて!!」をテーマに市内の高校生や専門学校生20名にご参加いただき、模擬議会形式で議員と意見交換を行いました。以下、その概要を報告します。  
なお、本フォーラムの録画映像や報告書は、登別市議会ホームページから閲覧することができます。

### 日本工学院専門学校

代表 藤川裕介さん



#### 質問要旨

##### 1 子供の貧困について

- (1)登別市の取り組み
  - ①貧困世帯への援助について。
  - ②スクールソーシャルワーカーの配置について。
- (2)ひとり親家庭の支援について
  - ①正規労働者にたどり着くまでの具体的な支援はあるか。
  - ②精神的なケアや社会参加が困難な人への支援はしているか。

#### 答弁要旨

- 1 (1)①ひとり親世帯へ所得に応じた手当の支給や低所得世帯へ就学援助を行っている。
- ②現在、教育委員会で2名配置している。当面はこの体制を維持していきたい。
- (2)①看護師や保育士などの資格取得を支援するために給付金を支給する制度がある。
- ②保健福祉部に専門相談員を1名配置し、自立のための助言や情報提供を行っている。

### 北海道登別青嶺 高等学校

代表 金田健太さん



#### 質問要旨

- 1 市内バスの運行及びバス停前横断歩道について
  - (1)総合体育館前バス停を学校の近くに移動できないか。
  - (2)雨よけの待合室を設置してほしい。
  - (3)一定間隔でのバス運行は可能か。
- 2 学校の老朽化対策、校内での冬期間の暖房について
  - (1)市内中学校の老朽化対策は。
  - (2)生徒の実態に合わせ個別に暖房の温度調節は可能か。

#### 答弁要旨

- 1 道南バス(株)によると
  - (1)新たに開通した道道側に移動予定である。
  - (2)現段階で設置の予定はない。
  - (3)費用対効果などを考慮して決めるが、ダイヤ改正の予定はない。
- 2 (1)現在、外壁や屋根などの耐震化に取り組んでおり、平成32年度までに全校で完了する予定。
- (2)暖房についてはポイラーによる集中暖房方式と教室ごとに暖房機がある個別暖房方式があり、前者だと個別に温度調整はできない。

### 北海道登別明日 中等教育学校

代表 金廣りかさん



#### 質問要旨

- 1 少子高齢化について
  - (1)高齢者が住みやすい環境にするため、例えば若い人と交流できる場や児童クラブと老人ホームを隣接するなど、登別市の取り組みはあるか。
- 2 市内施設について
  - (1)総合体育館の客席を増やすなど各施設の活用を工夫すべき。
  - (2)岡志別の森運動公園への交通アクセスを向上すべき。

#### 答弁要旨

- 1 (1)平成26年4月から市内の全小中学校で地域と学校が援助し合いながら活動するコミュニティスクールを開始した。また、幌別中学校が土曜授業で地域の避難訓練に参加するなど、世代間交流の機会を増やしている。
- 2 (1)客席の追加は建物本体を改築する必要があり多額の費用がかかるため大変難しい。
- (2)現段階で利用者の増大を見込まずバスの増便などは考えていない。

#### 学生の感想

・学生にとってはたくさん経験が積むことができるメリットがあり、議会にとっては、学生などの若い人達の意見を聞くことができるメリットがあるように感じました。

・議会が始まるまでの事前の準備(質問の回答のこと)や、議会というものの流れを一番学べたと思います。このような流れで市の決まりなどが決定していくことを身を持って体験することができました。本フォーラムは継続して何度か行つて、より効果を高めることができると思うので、今よりも回数を増やして年に何度か行つても良いのではないかと感じます。

・大勢の人の前で話すことが苦手で、今回自分の意見を伝えるということはすごく大切なことだと感じました。

・普段、登別市議会議員と討論する場はないので、自分の考える「子どもの貧困」についての意見を直接問うことができることのできる良い機会になりました。

・議会はインターネットで配信されているという点なので、ぜひ、これから見て、市民の一人として参加したいと思いました。

### 議会フォーラムを終えて

第8回議会フォーラムは、今まで参加の少なかった若者たちの声を聞くため、専門学校生と高校生が議員となる模擬議会形式で開催しました。参加された学生と高校生からは、「日々過ごすまちへより深く興味を抱くきっかけになった」「他校生もいて色々学べた」「議会に興味を持つきっかけになった」などの感想や、「事前にグループワークで議論し、疑問点をフォーラムで出してはどうか」などの提言も頂きました。

本フォーラムを通し、今後の議会フォーラムのあり方として、事前に行った各常任委員会と学生とのグループワークによる話し合いは、充実したフォーラムになることも、市民との協働が深まる可能性もあると、多くのことを考えさせられた有意義な「市民との議論の場」でした。



▲議会フォーラムにご参加いただいた学生の皆さん

## 主な議会活動状況 (平成26年10月～12月)

日	曜日	行 事
<b>10月</b>		
1	水	議会運営委員会
2	木	市政クラブ21会派研修 (3日まで)
3	金	観光・経済委員会
10	金	議会だより編集委員会
15	水	議会運営委員会
21	火	予算・決算委員会 (決算審査)
22	水	予算・決算委員会 (決算審査)
23	木	予算・決算委員会 (決算審査)
28	火	生活・福祉委員会 総務・教育委員会
30	木	議会運営委員会 市民・前進、日本共産党会派視察 (31日まで)
<b>11月</b>		
4	火	市民・前進会派視察 (6日まで)
6	木	観光・経済委員会
10	月	議会運営委員会
13	木	平成26年度議会フォーラム
14	金	清新会派研修
18	火	総務・教育委員会 生活・福祉委員会
19	水	市民・前進会派視察 (22日まで)
25	火	議会運営委員会 観光・経済委員会
26	水	平成26年第4回定例会議案説明 正副委員長会議 平成26年第5回登別市議会臨時会
<b>12月</b>		
1	月	議会運営委員会
5	金	第8回会派会長会議 平成26年第4回定例会本会議「諸報告、議案提案説明、委員会付託又は省略」 予算・決算委員会 (補正予算審査) 生活・福祉委員会 観光・経済委員会
8	月	本会議「一般質問」
9	火	本会議「一般質問」
10	水	本会議「一般質問」
11	木	生活・福祉委員会
12	金	観光・経済委員会 議会だより編集委員会
15	月	予算・決算委員会 (補正予算審査)
16	火	議会運営委員会
17	水	平成26年第4回定例会本会議「諸報告、残余議案」 生活・福祉委員会
25	木	議会だより編集委員会

※議会・常任委員会活動、会派視察などを掲載しています。

## 平成26年第4回定例会で可決した案件

### 【報告】

- 平成25年度決算の認定に係る予算・決算委員会の審査結果について
- 生活・福祉委員会の審査結果について
- 観光・経済委員会の審査結果について
- 予算・決算委員会の審査結果について
- 例月出納検査の結果に関する報告について

### 【議案】

- 登別市暴力団の排除の推進に関する条例の制定について
- 登別市議会議員及び登別市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について
- 登別市国民健康保険条例の一部改正について
- 登別市ひとり親家庭等医療費助成条例の一部改正について
- 公の施設に係る指定管理者の指定について
- 市道路線の認定について
- 市道路線の変更について

### 平成25年度決算

- 平成25年度登別市一般会計歳入歳出決算の認定について
- 平成25年度登別市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成25年度登別市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成25年度登別市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成25年度登別市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成25年度登別市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成25年度登別市カルルス温泉スキー場事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成25年度登別市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成25年度登別市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について

### 平成26年度補正予算

- 平成26年度登別市一般会計補正予算 (第7号) について

### 【意見書案】

- 地域の中小企業等の振興策を求める意見書について
- 後期高齢者医療制度の「特例軽減措置」の継続を求める意見書について
- 特定秘密の保護に関する法律の慎重な運用を求める意見書について
- 漁業用燃油にかかる軽油引取税免税措置の堅持に関する意見書について

### 【諮問】

- 人権擁護委員 (糸井孝子氏) の候補者の推薦について

## 編集後記

師走という慌ただしさの中、平成26年第4回定例会が終了し、私たち編集委員は、市民の皆様にご覧いただいたご感想に思い、数日間をわたって、一文ごとに確認し編集するところ、根気のある作業に取り組み、編集作業は無事終了しました。今年もより良い「議会だより」でいすかす」にするため頑張ります。(K・S記)

### 登別市議会事務局

☎85-9220 ファクシミリ 85-0018  
メールアドレス gikai@city.noboribetsu.lg.jp

## 議案及び意見書の賛否状況 (挙手採決議案のみ掲載)

議 案・意見書	賛成議員	反対議員	結果
平成25年度登別市一般会計歳入歳出決算の認定について	石山、上村、木村(純)、木村(俊)、工藤、佐藤、杉尾、高橋、成田、二瓶、沼田、松山、山口、山田、米田	佐々木渡辺	可決
平成25年度登別市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	石山、上村、木村(純)、木村(俊)、工藤、佐藤、杉尾、高橋、成田、二瓶、沼田、松山、村井、山田、米田	佐々木渡辺	可決
特定秘密の保護に関する法律の慎重な運用を求める意見書について	石山、上村、木村(純)、木村(俊)、工藤、佐藤、杉尾、高橋、成田、二瓶、沼田、松山、村井、山田、米田	佐々木渡辺	可決

次回の平成27年第1回定例会は2月17日からの予定です。